

看護教育研究学会 2016 年夏季学習会

日時: 8月6日(土)10:00~16:00

会場: 東京通信病院小講堂(東京都千代田区)

テーマ: 臨地実習における学生カンファレンスを効果的に支援するためのファシリテーションスキル

プログラム: 講義/グループワーク(ファシリテーター体験)/発表/まとめ

講師: 大川長子・正藤倫音

定員: 非会員 3000 円 ※会員は無料

問い合わせ: 事務局

〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学大学院人間総合科学研究科看護科学専攻 森千鶴研究室 内

<http://www.nihonkango.jp/Pages/default.aspx>

第2回日本混合研究法 学会 学術大会

日時: 8月27日(土)・28日(日)

会場: 東邦大学看護学部(東京都大田区)

テーマ: 混合研究法への誘い——多様性からの創発

プログラム:

8月27日

〈大会ブレ企画〉「混合型研究論文査読セミナー」マイク・D・フェターズ(ミシガン大学家庭医療学講座教授, Journal of Mixed Methods Research 共同編集委員長)/基調講演「日本における混合研究法コミュニティの創生と未来」抱井尚子(青山学院大学国際政治経済学部教授)/「MMR オープンフォーラム」マイク・D・フェターズ, 亀井智子(聖路加国際大学大学院看護学研究科教授), 八田太一(京都大学 iPS 細胞研究所上廣倫理研究部門特定研究員),

抱井尚子/懇親会

8月28日

口頭発表セッション/学会総会/ポスターセッション/招待講演「EBMとNBMの統合的理解——実践と研究」斎藤清二(立命館大学総合心理学部教授)/〈シンポジウム〉「感染予防担当者のコンピテンシー・モデルの開発: 説明的・順次的アプローチを用いて」操華子(宮城大学看護学部教授), 「社会的な課題に混合法アプローチができること」河村洋子(熊本大学政策創造研究教育センター准教授), 「混合研究方法を用いた日本人高校生の英作文におけるライティング方略・メタ認知・自己効力感の分析と考察」長友隆志(宮崎県立高鍋高等学校教諭)/〈パネルディスカッション〉操華子, 河村洋子, 長友隆志

申し込み: 学会ホームページ(<http://www.jsmmr.org/>)の「申し込みフォーム」から登録

※事前参加申込・振込期日: 8月15日(月)

※〈大会ブレ企画〉は人数制限あり

【大会実行委員・ボランティア募集】連絡はEメールにて事務局まで。

E-mail: jsmmr.adm@gmail.com

千葉大学看護学部 センター事業 平成28年度看護学 教育ワークショップ

日時: 10月27日(木)・28日(金)

会場: 千葉大学けやき会館(JR 西千葉駅徒歩10分)

テーマ: 卒業時到達目標の評価をどう行い、どう活かすか——大学改革時代における看護学教育の継続的質改善への挑戦

プログラム:

10月27日

ワーク“知る”①「看護系大学を取り巻く大学改革の動向」(文部科学省)

／ワーク“知る”②「全国の看護系大学における看護実践能力育成の現状調査」看護系大学学士課程における臨地実習の現状並びに課題に関する調査研究(JANPU), 看護系大学における卒業時到達目標評価に関する全国調査(当センター)/ワーク“知る”③「自大学の卒業時到達目標」評価の取り組み事例/ワーク“創る”①「自大学の卒業時到達目標」評価の取り組み/グループ討議の発表/交流会

10月28日

ワーク“創る”②「自大学の卒業時到達目標」からみた自大学の課題/ワーク“創る”③「自大学の課題解決アクションプランの検討」/ワーク“推進する”「アクションプラン実現を推進するアイデア共有」

定員: 初日半日(ワーク“知る”の部)250名, 全日程60名

参加要件:

ワーク“知る”参加者: 参加要件なし
全日程参加者: 看護系大学において, 看護学教育に責任をもつ立場にある教員あるいはFDの担当者(原則として, 准教授以上)であり, 以下①~③を充たす者。

①ワークショップ全日程参加, ②「自大学の卒業時到達目標」評価の取り組みの報告ができる, ③「自大学の卒業時到達目標」からみた課題解決アクションプラン(案)を討議できる
※全参加者に講演資料の他, “看護学教育におけるFDマザーマップ活用ガイドver2”配付

参加申込・詳細: ホームページ(<http://www.n.chiba-u.jp/center/>)より「実施要領」参照のうえ, 千葉大学看護学部センター事業支援係宛。

申込締切: 8月19日(金)

問い合わせ: 千葉大学看護学部センター事業支援係

TEL. 043-226-2464

E-mail: nursing-practice@office.chiba-u.jp

<http://www.n.chiba-u.jp/center/>